vol.3

# 年末に向けて!鳥かごの大掃除をしてみませんか?

今年の汚れは今年のうちに。小鳥さんと新たな気持ちでよい新年を迎えるように!

## 「竹かご」

できれば乾いた布でやさしく拭いてください。落ちない汚れは、歯ブラシを使用し水洗いするとよいでしょう。お掃除後は、殺菌のため日光で十分に乾かして下さい。

## 「木製底板」

軽く水洗いしましょう。落ちない汚れは、専用の掃除用具もありますが、お家にあるカッターやスケッパーなどでも、こびりついたフンもはがせますよ。水洗いした場合は、換気の良いところで十分に乾かして下さい。

## 「鉄製ケージ&プラスチック底板」

ケージも底板も水洗いしましょう。エサ入れなども水洗いしましょう。小鳥は、足から病気になる事が多いので、止まり木はよりきれいに洗いましょう。洗剤は木に残ってしまうので、洗剤の使用は避け歯ブラシなどでこすり洗った後、熱湯消毒をして十分に乾燥してください。エサ入れなども、陶器製であれば熱湯消毒をオススメします。

## 「カビ対策」

★竹椿油（弊社取扱商品）がオススメです。唐辛子成分によるオイルで、防虫&防カビに最適です。竹カゴを購入後、もしくはお手元のカゴをきれいにされた後、竹椿油を塗ると汚れが付きにくく日頃のお掃除が簡単になり、竹本来の色つやも保つことができます。

★床用水性ワックスもカビ対策に使えます。竹カゴ使用前に、床用水性ワックスを塗り、匂いが完全になくなるまでよく乾燥させて下さい。後のお手入れが楽になります。

★木製底板も竹椿油&床用水性ワックスどちらも使えます。弊社のマジックシートもオススメです。その名の通り超撥水加工がしてあるので、フンや水浴びの水が中に浸み込みません。汚れも、水を掛けて振り払っただけですぐに落ちる優れものです。

★一番オススメなカビ対策は、一羽の小鳥に対し2つの同じカゴを用意する事です。カビは「水」が敵ですので、水分を十分にとばすためにも竹カゴを2個用意し一方をきれいに掃除し、十分乾燥している間、もう一方に小鳥を移してそのカゴで飼育します。臆病な小鳥さんが多いので、全く同じカゴを2個用意し小鳥さんが驚いたり、緊張したり、興奮させないようにしてあげましょう。

KAWAI